

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和4年3月20日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		人数が多いときは、机を移動するなどして、スペースを確保しており、適切に開放的な空間です。	衝立などで、遊びや学習のスペースをしっかりと分け、活動しやすいよう配慮してまいります。
	2	○		職員数は配置基準を満たしたうえで専門職も配置しています。	法令基準を満たした職員数で対応しています。日々の利用人数によって、人員の確保や配置を臨機応変に対応できるように努めています。
	3	○		わかりやすく、構造化された環境になっています。玄関前に段差がありますが、事業所内は段差がなくフラットです。	今後車椅子を使用する児童が利用開始することとなった場合には、玄関の段差を解消するためスロープへの改修を検討するなど状況によって改善に努めていきます。
	4	○		1～2時間おきの消毒・換気を徹底しており、毎日の清掃や汚れた場所の清掃も実施しています。	感染症予防のため定期的な窓の開閉、空気清浄機の使用で、換気に努めています。今後も清潔で快適な空間づくりの維持に努めてまいります。
業務改善	5	○		月2回の会議をおこない、全職員が参画して、業務改善について討議しています。	今後も朝礼や日誌・個別支援会議で、療育や支援、その他業務について目標設定と改善について全職員で共通理解を図ってまいります。
	6	○		初めての評価を実施し、更に送迎時の会話の中でご意見を伺った際には、ご意見を把握し会議で話し合い、改善を図るようにしています。	今後も保護者様のアンケートをもとにお褒めの言葉は職員のモチベーションの糧として、ご意見は真摯に受け止め、業務改善への課題としてより良い支援へと繋げていきたいと思っております。
	7	○		評価の結果はCOMPASS発達支援センターの公式Webサイトに公開致します。	今後も、毎年Web上で自己評価表の公開をおこなってまいります。
	8	○		現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
適切な支援の提供	9	○		本社作成された研修動画等を用いた研修を実施しています。	今後も定期的に事業所内研修をおこない、職員の資質向上に努めます。コロナ収束後は外部研修についても積極的に参加してまいります。
	10	○		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	今後も児童の気持ちに寄り添い、保護者様のご意向に耳を傾けながら、支援計画を作成してまいります。
	11	○		標準化されたアセスメントツールを使用している	今後も継続して標準化されたアセスメントツールの活用で児童の状況確認に努めます。
	12	○		児童の課題を整理し、ガイドラインの項目から必要な支援項目を選択し、具体的な支援計画を作成しています。	今後もガイドラインを遵守し、保護者様に十分なご説明を行ったうえで、同意を得て、適切な支援へと繋げていけるよう努めてまいります。
	13	○		児童発達支援計画を全職員が閲覧するファイルに挟み、随時確認が出来るようにすることで、計画に沿った支援を実施しています。	今後も支援計画の内容に則した支援がおこなえるよう努めてまいります。
	14	○		児童発が大きな流れを作った後、職員がアイデアを出し合いながら、プログラムを立案しています。	今後も引き続き、職員間の情報交換や情報共有を心掛け、立案してまいります。
	15	○		固定化を避け、職員間で話し合い、季節の行事を取り入れ、児童一人ひとりに合ったプログラムの作成を心掛けています。	今後も職員間で意見を出し合い、児童に応じた立案してまいります。
	16	○		児童の特性に応じた個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しています。	今後も同様に、それぞれの活動内容を組み合わせ、支援計画の作成をおこなってまいります。
	17	○		昼礼での全体的な確認に加え、職員個人間での確認を実施しています。	今後もミーティングを継続し、当日の流れ、支援内容などの確認をおこない情報共有に努めてまいります。
	18	○		送迎やシフトの時間差のため毎日ではありませんが、変化や気づいたことがある場合には必ず共有するようにしています。	今後も打ち合わせを継続し、どんな小さなことでも意見を出し合いながら、共通理解に努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	19	○		日々、支援終了後には経過記録等を記入し、職員間で共有しています。	日々の療育内容や、児童の様子は必ず記録しております。その記録をもとに支援の改善を図り、職員間で情報交換をおこなっております。
	20	○		定期的にモニタリングをおこない、現状把握、計画の見直しを実施しています。	今後も同様に、モニタリング時期には職員全員で児童の状況・課題を確認して支援計画の見直しをおこなってまいります。
	21	○		児童の状況を最も理解している職員や児発管が参画しています。	引き続き児発管を中心に積極的に会議に参画し、職員間で情報交換をおこなってまいります。
	22	○		関係機関と連携して支援を実施しています。	今後も、更に地域との繋がりを大切にしながら連携できるよう努めてまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		電話や必要に応じて訪問をすることで情報共有や相互理解を実施しています。	今後も、関係機関とは積極的に連携を取り合い、研修や助言を受けるなど、事業所との繋がりを大切にしています。
	26	○		主に送迎の際や電話や訪問の際に、情報共有を心がけています。	今後も同様に、関係機関と連携して支援内容等の情報共有と相互理解を図ってまいります。
	27	○		新型コロナ感染拡大のため参加機会を作れませんでした。	今後も積極的に連携を取り合い、コロナ収束後は研修や助言を受けるなどを心掛け、他事業所との繋がりを大切にまいります。
	28	○		新型コロナ感染拡大のため、交流を実施できていません。	現在はコロナ禍であり、事業所発信の交流会の開催は大変難しいため、事態の収束後は保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
保護者への説明責任等	29	○		新型コロナ感染拡大のため、参加は控えています。	今後協議会が開催される場合は、積極的に参加し、児童への支援に繋げていけるよう努めてまいります。
	30	○		連絡帳や送迎時に活動の様子等をお伝えしています。	これからも送迎時、連絡帳などではできるだけその日の児童の様子をお伝えするよう心掛け、保護者様との共通理解に努めてまいります。
	31	○		送迎時や必要に応じて面談、訪問を実施し、ご相談に対するアドバイスをさせていただきます。	今後も継続して保護者様に寄り添い、専門用語を避けたわかりやすい文書で助言や提案、アドバイスに努めてまいります。
	32	○		契約時に、丁寧に説明させていただいています。	今後も保護者様に安心してご利用いただけるよう、丁寧に説明をおこなってまいります。
	33	○		支援計画を提示し、目的や内容について詳しい説明をおこない、同意をいただいています。	今後も同様にご意向や、児童の状況に応じた支援計画を作成し、丁寧に説明をおこなってまいります。
	34	○		保護者様のご相談やお悩みは丁寧に傾聴し、職員間で話し合い、電話や面談での支援に努めています。	今後も継続して保護者様からのご相談やお悩みには丁寧な対応に努め、安心してご利用いただけるように配慮してまいります。
	35	○		現状では実施できていません。	保護者会等の開催については、コロナの収束後に、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	36	○		職員間での話し合いを実施し、迅速な対応ができています。	今後も、保護者様からのお申し入れ、ご相談やお悩み等をお聞きし、適切に対応し、安心してご利用いただけるよう配慮してまいります。
	37	○		COMPASSだよりを季刊発行、毎月お便りを作成し、保護者様へ配布しています。このほか公式Webサイトでブログ、YouTubeで療育チャンネルを運営し、各種SNSでも情報発信しています。	今後も定期的な情報発信を継続してまいります。また保護者様にわかりやすいように工夫した内容にしていこう努めてまいります。
	38	○		職員全員が十分注意し、施設した書庫で管理しています。	今後も継続して個人情報の取り扱いには、十分注意してまいります。
非常時等の対応	39	○		児童とは個々の特性に合わせた伝達手段を選択し、わかりやすい声掛けのうえ、意思を確認しています。保護者様とは連絡帳、電話、面談などその時点で最適な方法を選択し、専門用語を避け、ご理解いただけるまでご説明しています。	今後も継続して児童や保護者様との意思の疎通や情報の伝達・共有に努めてまいります。
	40	○		現状では実施できていません。	現在コロナ感染予防のためおこなっている等、コロナ収束後は、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	41	○		保護者様にも見やすい場所に掲示しご覧いただき、職員にも周知徹底しています。	今後も継続してマニュアルに沿って訓練を実施し、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
	42	○		避難訓練を定期的実施しています。	今後も継続して訓練をおこない、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
	43	○		保護者様に十分に確認をおこない、緊急時には全職員が対応できるよう共通理解を図っています。	特に初期アセスメントで必ず聞き取りをおこなうことを徹底してまいります。
	44	○		契約時にお話を伺い、食べ物を提供する際はその都度、事前に保護者様に説明し、同意をいただいています。	今後も継続して保護者様からの情報をいただき、全職員で共通理解に努めてまいります。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。	今後もヒヤリハット事例を作成し、全職員で改善点などを話し合い、再発の防止と共通理解に努めてまいります。
46	○		虐待防止のために事業所内で行える研修を実施し、全職員一貫した対応に努めています。	コロナ収束後は社内・社外問わず、積極的に研修に参加してまいります。	
47	○		法人の原則として身体拘束を禁止し利用契約書に記載しています。万一の場合、身体拘束をおこなうこととなる状況について、例外となる状況や身体拘束の程度について、保護者様にわかりやすく詳細をご説明し、同意をいただいたうえで計画に記載します。	今後も原則として身体拘束はおこなわない基本姿勢を守り、やむを得ない場合は、あらかじめ文書により保護者様からの意向を得て個別支援計画に記載してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。